大化改新　P. 38～；『ゼミナール』P. 10

☆「大化改新」とは…645(大化元)年６月の蘇我氏打倒にはじまる一連の政治改革をさす。氏姓制度の弊害を打破し、**唐の律令制にならった天皇中心の中央集権国家の建設を目標**とした。

1＿＿＿＿＿＿＿＿、2＿＿＿＿＿＿＿＿がそのきっかけをつくる。

改新前の情勢

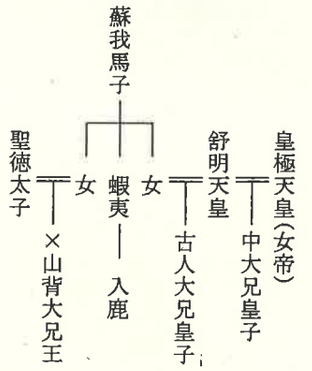
①東アジア情勢の変化

中国で3＿＿＿＿＿が成立(618年)。朝鮮半島の高句麗、百済、新羅でも国家体制の整備が進み、中央集権化が行われる。

〈これらの情報が4＿＿＿＿＿＿＿＿を通じて中大兄皇子、中臣鎌足にもたらされたとされる。〉

②蘇我氏の専横(せんおう)　※専横＝わがままをどこまでも押し通す様子

天皇の後継問題に絡み、**蘇我入鹿**が5＿＿＿＿＿＿＿＿を自殺に追い込む(643年)。



大化改新

1．大臣・蘇我氏の打倒（「6＿＿＿＿＿＿＿＿」）

◇7＿＿＿＿＿年 中大兄皇子は中臣鎌足とはかり、計略により8＿＿＿＿＿＿＿＿をおびき出し殺害。

＊場所は飛鳥板蓋宮(あすかいたぶきのみや)　＊当時の天皇は皇極天皇(こうぎょく)（中大兄皇子母）

＊直後に入鹿の父9＿＿＿＿＿＿＿＿を襲い、自殺させる。

※古人大兄皇子は事件後即位のすすめを断って出家したが、謀叛の疑いで同年中に殺害された。

2．新政府発足

①顔ぶれ［図表P. 56 3］

〔天皇〕10＿＿＿＿＿天皇

〔皇太子〕中大兄皇子

〔内臣(うちつおみ)〕11＿＿＿＿＿＿＿＿

〔左大臣〕阿倍内麻呂(あべのうちまろ)　〔右大臣〕蘇我倉山田石川麻呂(そがのくらやまだいしかわまろ)

〔国博士（政治顧問）〕12＿＿＿＿＿＿＿＿・＿＿＿＿＿＿＿＿

②遷都

飛鳥板蓋宮(いたぶきのみや) → 13＿＿＿＿＿＿＿＿(難波長柄豊碕宮(なにわのながらとよさき))［図表P. 60 2］

まず大化改新のスタートとなる蘇我氏の打倒について見ていきましょう。

最初に教科書P38 l.2～l.11を読んで概要を確認します。さらに図表P3.4.5で当時の国際情勢もみておきましょう。

ではプリントをみてみましょう。

まず、3に入る国名はわかりますね。

次に4です。大化改新の中心となる人物たちにその動機を与えた人物です。これは隋へ留学した人の中にいます。『日本史用語集』P.25～26に出てくる3人の人物のうちの1人です。説明文を読めばわかるでしょう。この人の影響を受けた人物を1.2に入れます。あとは教科書の記述によりわかると思います。

ここは図表P56 3の組織図を参照しましょう。
(解説も読んでください)